

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 60-059322

(43)Date of publication of application : 05.04.1985

(51)Int.CI. G02F 1/133  
G09F 9/00

(21)Application number : 58-167757 (71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

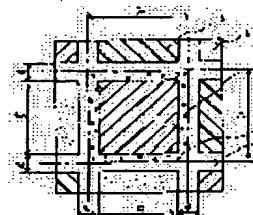
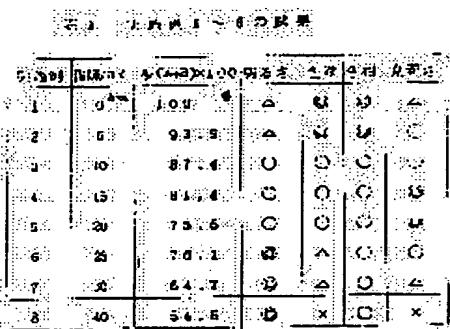
(22)Date of filing : 12.09.1983 (72)Inventor : ARAKI RYOSUKE

## (54) LIQUID-CRYSTAL DISPLAY PANEL

### (57)Abstract:

PURPOSE: To make a bright color display by forming an area through which white light is transmitted when filters of three primary colors R, G, and B and liquid crystal cells are combined together.

CONSTITUTION: Color blocks of R, G and B are arranged according to a specific rule, and an optical transparent area is provided between adjacent color blocks to transmit white light from a back light. The display is made brighter by small variation in hue than when the transmitted light is increased by making dye thinner, but when the white light transmission area 15 is made too large, a decrease in color becomes conspicuous. The display becomes darker and darker as the rate  $e \times f / (a \times b) = A / (A+B)$  of the area of each color block is larger and larger, where (a) and (b) are pitches of the color blocks, (e) and (f) are the sizes of the color blocks, and (d) is the gap between adjacent color blocks. In this case, A is the area of the color blocks and B is the area of the white light transmission area 17.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2000 Japan Patent Office

⑩日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭60-59322

⑬Int.Cl.

G 02 F 1/133  
G 09 F 9/00

識別記号

126

府内整理番号

7348-2H  
N-6731-5C

⑭公開 昭和60年(1985)4月5日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮発明の名称 液晶表示パネル

⑯特 験 昭58-167757

⑰出 願 昭58(1983)9月12日

⑱発明者 荒木亮輔 谷訪市大和3丁目3番5号 株式会社谷訪精工舎内

⑲出願人 株式会社谷訪精工舎 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

⑳代理人 弁理士最上務

明細書

発明の名称

液晶表示パネル

特許請求の範囲

1. 赤、緑、青の三原色から成るカラーフィルターを液晶表示パネルに組み合せてなるカラー表示パネルにおいて、赤、緑、青の光を透過する領域以外に白色光を透過する領域を有することを特徴とする液晶表示パネル。
2. 赤、緑、青の三原色の色ブロックからなるカラーフィルターにおいて隣接する色ブロックの間隙を視覚的に透明な領域としたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の液晶表示パネル。

発明の詳細な説明

本発明は液晶表示パネルに関する。特にカラーフィルターを用いた液晶カラー表示パネルに関する。

液晶表示装置は、低消費電力、低電圧駆動、小

型軽量といった特徴から時計、電卓等に数多く用いられるまで、近年情報関連機器にもその表示装置として利用されつつある。このような流れのなかで液晶表示装置に対し、大容量化、カラー化の要望が強くなり、多くの研究施設でその開発がなされている。

液晶表示装置のカラー化は、①二色性液晶による方法、②カバー偏光板による方法、③複素屈折を利用する方法、④カラーフィルターによる方法が考案されている。この中で①～③の方法は視角が狭く表示装置として問題が有る一方④の方法はカラーテレビとしてその応用が実現されている。

カラーフィルターを用いた液晶カラー表示装置の原理は第一図に示すように液晶パネル1を光シヤンターとして用い、光源2からの光量を調整してカラーフィルター3に照射して表示を行うもので、カラーフィルターの各色ブロック4、5、6と液晶パネルの画素とは一対一に対応しておりこれによりフルカラーの表示を可能にしている。第一図には遮光状態7と透過状態8を示し、特定の

色ブロック5のみ光が透過している状態を示す。

カラーフィルターは第2図に示すように所定の規則に従って赤、緑、青の色ブロック5、6、7が配置されている。カラーフィルターは従来カット一撮像装置用の色分解フィルターは第2図(b)に示すように隣接するカラーブロックの間にCF等の金属膜9や黒色フィルター層を配置して色ブロック以外からの光の透過を防いでいる。第2図(c)に示すように隣接するカラーブロックを隙間なく配置してもよい。

第2図に示したカラーフィルターを表示装置に応用すると暗い表示となってしまう。これはカラーフィルターが第3図に示すように光の吸収により発色するためであり、赤、緑、青の1組のカラーブロックに入射する光のうち3分の1の光しか透過しない。第3図中の10、11、12はそれぞれ赤、緑、青の透過特性を示す。

カラー表示で単色の表示を行う場合は例えば青色の表示の場合赤及び緑への光は液晶部で遮光されるため、さらに3分の1の光量となることから、

カラーフィルターでの減光量と合せて、入射光量の9分の1の光量しか表示に寄与されない。この他液晶表示パネルをはさんでいる偏光板によりおよそ4分の1となることから、トータルとして入射光の数分の光しか表示に寄与していないことになり、表示は非常に暗いものとなる。

表示を明るくするためには、第1に入射光の光量を多くすることであり、すなわちバックライトを明るくすることである。バックライトを明るくすることは消費電力の増加につながり、これがまた表示装置の低消費電力化、小型化を阻害する。そこでカラー液晶表示パネルをより明るくする必要がある。

1つの方法としてカラーフィルターのカラーブロックの色を薄くする方法がある。カラーフィルターは、ゼラチン等の可溶性樹脂に染料で染色したもののが一般的に多く用いられており、色を薄くするには染料の量を減らすことで可能である。しかし染色を薄くすると第4図に示すように色相が変化する。第4図は赤の染色条件を変えたもので

あり、分光特性曲線13、14の順に薄く染色してあってこの順で色が黄色に近づいてくる。したがって染色条件によって透過率を上げることは、色相が変化するため望ましくない。

本発明の目的はかかる欠点を除去し、より明るいカラー表示が可能な液晶カラー表示パネルを提供することにある。

本発明はカラーブロックを通過した選択された光以外に白色光を加えることにより、明るいカラー表示を可能にせんとしたものである。本発明について第5図(a)～(b)を用いて詳しく説明する。第5図(a)はモザイク状のカラーフィルターで、第5図(b)はストライプ状のカラーフィルターを示す。各色のカラーブロックは所定の規則に従って配置されていて隣接するカラーブロックの間には光学的に透明な領域をもつてパンクライトからの白色光を漏泄するようになっている。

第6図に本発明による赤色の分光特性の例を示す。赤色のカラーブロック部の分光特性10と比べ周辺を白色透過領域とした分光特性16は、短波長

側の遮光域で白色透過領域の面積に相当する量の透過光がある以外、分光特性曲線に大きな変化はない。このため染色を薄くした第4図に示した分光特性を持つ色に比べ色相の変化は小さい。したがって色相をあまり変化しないで明るくすることが出来る。しかし白色透過領域15をあまり大きくしすぎると色彩の低下が目立つようになるため、白色透過領域15は制限される。白色透過領域の割合あるいは色ブロックの面積の割合で制限すると分り易い。そこで第7図に示すように色ブロックのピッチをa、b、色ブロックの寸法をs、隣接する色ブロックの間隔をdとすると色ブロックの面積A = a × s、白色透過領域17の面積D = a × b - A = d × (a - s)の関係から色ブロックの面積の割合は

$$A / (A + D) = a \times s / (a \times b)$$

となる。

この値が大きい程、一般的に暗くなる。

以下実施例に基づいてさらに詳しく説明する。

実施例 1～8

特開昭60- 59322(3)

と覚えて、画面の明るさ、色彩、色相、見安さについて調べた結果を表に示す。

表1 実施例1～8の結果

実施例	距離/d	$A/(A+B) \times 100$	明るさ	色彩	色相	見安さ
1	0 μm	100 %	△	◎	◎	△
2	5	93.5	△	◎	◎	○
3	10	87.4	○	○	○	○
4	15	81.4	○	○	○	◎
5	20	75.6	○	○	○	◎
6	25	70.1	◎	△	○	○
7	30	64.7	◎	△	○	△
8	40	54.6	◎	×	○	×

左の表1の評価基準は以下のように設定した。

①明るさ—入射光に対する透過光の割合(すなわち透過率)が、30%未満は×、30%以上40%未満は△、40%以上50%未満は○、50%以上は◎とした。

②色彩—單色表示(例えば赤)の場合の分光特性

ガラス基板上に可染性樹脂膜を0.5～2μmの膜厚で塗布し、ガラスマスク上のパターンをフォトリソグラフィ技術で転写した可染性樹脂膜パターンを活性染料で赤色に染色する。染色した樹脂上に透明な防染膜を形成して後、赤色パターン形成と同様にして緑色パターン形成を行い、再び防染膜を形成して、赤色パターン形成と同様にして青色パターン形成を行い、最後に保護膜を形成してカーフィルターとする。

このカーフィルターの表面に透明導電膜を形成して液晶表示パネルの一方の基板とし、他方の基板は透明基板上に薄膜トランジスター(以後TFTと略す)と透明電極を形成したアクティブラチック基板とし、一般的な手法により液晶表示パネルを組立てて液晶封入して液晶カラー表示パネルとした。

液晶カラー表示パネルの面積ピッチ(すなわちカーフィルターのピッチ)はa=17.0μm、b=14.0μmとし、隣接するカーブロックの間隔をd=0, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 40μm

において透過光のうち白色透過光(第6図中のA)の割合が、70%以上を×、50%以上70%未満を△、20%以上50%未満を○、20%未満を◎とした。

③色相—色相は白色光の場合によって大きく変わらないため一概に○とした。

④見安さ—隣れた日の室内で窓から2mの所で以較し、8サンプルを4段階に分けた。

実施例1～8の結果から画面の内で色ブロック部(染色部)が70～95%の範囲であれば、明るさ、色彩、色相、見安さの点でよい表示が得られる。いいかえれば、画面の5～30%を白色光透過領域とすることにより、より見安い表示となる。

#### 画面の簡単な説明

第1図は液晶カラー表示装置の概略図であり、第2図(1)及び第2図(2)は、液晶カラー表示パネルに用いられた従来のカーフィルターである。

第3図はカーフィルターの各色フィルター部

の分光特性を示す。

第4図はカーフィルターの色を薄くして透過率を大きくした場合の例として赤色フィルターの例を示す分光特性である。

第5図(1)及び第5図(2)は本発明による液晶カラー表示パネルのカーフィルターの例を示し、第6図はその分光特性の一例として赤色フィルターの分光特性を示す。

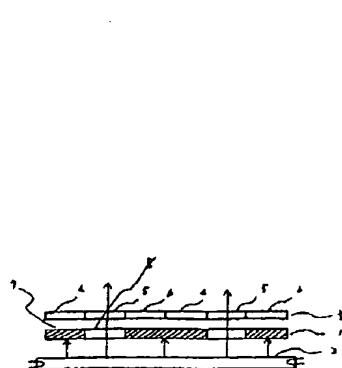
第7図は第5図(2)の拡大図である。

- 1... 液晶表示パネル 2... ケイ光アンプ
- 3... カーフィルター 4, 5, 6... 各色ブロック 10... 赤色カーフィルターの分光特性
- 11... 緑色カーフィルターの分光特性 12... 青色カーフィルターの分光特性 13, 14... 深い赤色カーフィルターの分光特性 15, 17... 白色透過領域 16... 赤色カーフィルターからの光に白色光が加わった分光特性。

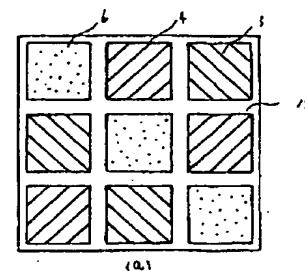
以上

出願人 株式会社 聰謨精工舎

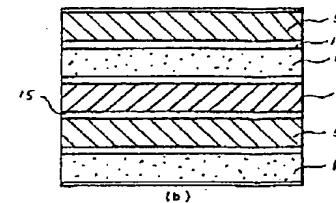
代理人 弁理士 増上務



第 1 図

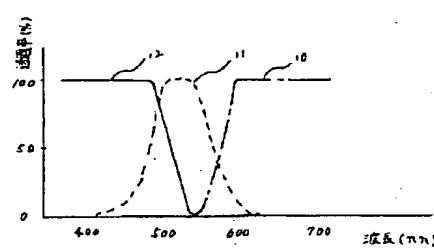


(a)

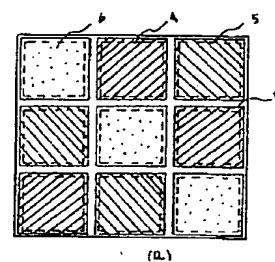


(b)

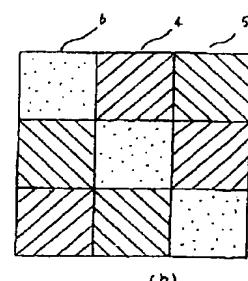
第 2 図



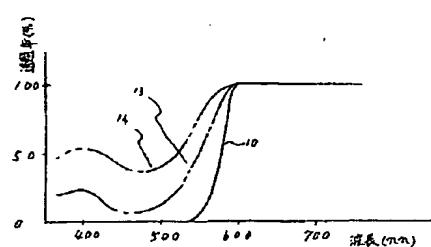
第 3 図



(a)

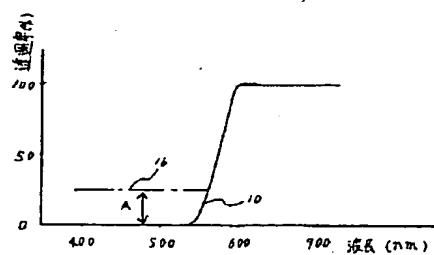


(b)

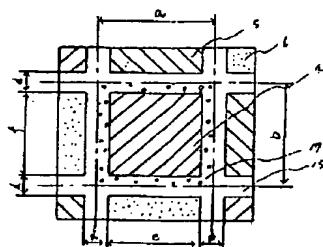


第 4 図

第 5 図



第 6 図



第 7 図